

# Epistula

大分県立芸術文化短期大学 広報誌 エピストウラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。  
 広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。



情報コミュニケーション学科

## 特集

新任の先生を紹介します



Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE  
 Public Relations Magazine

Vol. 75  
 2024

大分県立芸術文化短期大学「EPISTULA」2024年7月7日発行 通巻75号  
 大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL 097-545-4225 FAX 097-545-0543

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE

## EVENT CALENDAR 2024年 7月 ▶ 9月

- 7月24日(水)・25日(木) 音楽科公開研究発表Ⅱ
- 8月10日(土)～ 夏期休業
- 9月17日(火) 後期授業開始
- 20日(金) 芸短音楽科コンサートシリーズ No.123  
 「若さあふれるコンサート～前期実技試験成績優秀者による～」

## 大分県立芸術文化短期大学 OPEN CAMPUS 2024



オープンキャンパス日程 13:00-16:00

美術科	音楽科	国際総合学科	情報コミュニケーション学科
7/28 [日] 【お申し込み期間】 6/3(月)～7/21(日)	7/14 [日] 【お申し込み期間】 6/3(月)～7/7(日)	8/3 [土] 【お申し込み期間】 6/3(月)～7/28(日)	5/18 [土] 6/29 [土] 【お申し込み期間】 4/15(月)～5/13(月) 5/27(月)～6/24(月)
※音楽科と美術科の講習会を受講する場合は、 オープンキャンパスとは別に申し込みが必要となります。		ミニオープンキャンパス 13:30-16:00 6/1 [土] 4/22(月)～5/27(月) 10/6 [日] 8/26(月)～9/30(月)	8/4 [日] 11/9 [土] 【お申し込み期間】 7/1(月)～7/28(日) 10/7(月)～11/4(月)

お申し込み方法等詳細は、本学ホームページをご覧ください。

- PROGRAM プログラム**
- 全体説明会 ■学科別説明会・入試相談会
  - 学生生活相談(※1) ■入試説明会(※2)
  - 在学生との対話 など
- ※1: 希望者のみ ※2: 高等学校進路指導担当の教員対象

【美術科】講習会のご案内	【音楽科】講習会のご案内
対象: 高校生以上(社会人も可) 受講料: 1,000円 美術科では、実践的な実技デッサン講習会を開催します。 各専攻定員がありますのでお早目の申し込みをお願いします。 美術専攻およびデザイン専攻のデッサンは異なります。お申し込みの際はお気をつけください。	対象: 高校生以上(社会人も可) 受講料: 4,500円(45分間のレッスンまたは授業1回) コース別に本学教員が、マンツーマンで指導します(1回45分の個人レッスン)。 また、希望者には基礎科目の指導も行います(一部追加料金がかかります)。
お問い合わせ先: 美術科美術専攻副手室 TEL 097-545-8548	お問い合わせ先: 音楽科副手室 TEL 097-545-8758
【開催日】 6/22 [土] Zoomによるデッサン作品展覧会【グループ、受講料無料】 7/27 [土] 28 [日] デッサン過去問題講習会 8/22 [木] 23 [金] デッサン講習会	【開催日】 6/16 [日] 4/15 [月]～5/15 [水] 7/13 [土] 5/13 [月]～6/12 [水] 7/14 [日] 7/15 [月]～8/14 [水] 9/14 [土] 7/15 [月]～8/14 [水]
お問い合わせ先: デザイン専攻【お問い合わせ先】美術科デザイン専攻副手室 TEL 097-545-8641	お問い合わせ先: 大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 TEL 097-545-4225

お問い合わせ先 大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 お申し込み方法 <https://www.oita-pjc.ac.jp/nyushi/opencampus>  
 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL 097-545-4225 参加ご希望の方は、本学ホームページからお申し込みください。

情報をいち早くGet! [芸文短大 検索 https://www.oita-pjc.ac.jp](https://www.oita-pjc.ac.jp)

大分県立芸術文化短期大学	芸短 美術科	芸短 国際総合	芸短 音楽科	芸短 情報コミュ
Facebook	Instagram	X(旧Twitter)	YouTube	Facebook
Instagram	X(旧Twitter)	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)
X(旧Twitter)	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)	Facebook
Instagram	X(旧Twitter)	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)

大分県立芸術文化短期大学の公式 SNS では、本学が主催するイベント・展示会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、学科や研究室のほか、サークル、イベント等でも SNS を立ち上げています。



## PROFILE

### Q. 経歴・専門分野・担当科目を教えてください

佐賀県出身で、東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻美術教育研究室を修了しました。専門分野は油彩画で、主にリアリズム絵画や美術教育に関する研究をしています。担当科目は、「絵画基礎」「絵画演習」「美術Ⅰ・Ⅱ」「卒業制作」「造形研究Ⅰ・Ⅱ」「修了研究」などです。

### Q. 芸文短大に着任される前はどこで何をされていたか?

大学院修了後は、小学校図工専科教諭として勤めていました。その後は大学助手や大学非常勤講師など、様々な形で美術教育に携わってまいりました。また、働きながら研究や制作活動、展示発表を続けてきました。

### Q. 新天地で挑戦してみたいことは?

絵画の技法研究を深めていきたいです。リアリズム絵画の定義は作家によって異なるので、自身のリアリズム絵画とは何か、制作・理論の両面から追究したいと思っています。制作では、風景をモチーフにすることが多いので、これから大分の風景をたくさん描けることを楽しみにしています。

### Q. 学生にメッセージをお願いします!

大学では、自分自身の興味があることについてじっくり考えることができ、様々なことに挑戦できる場所です。自分なりの表現を見つけるためには、多角的な視点を持って物事を捉えること、実際に試してみることがとても大切だと考えます。私自身他者から学び続けていくように、私も皆さんの学びや経験のお手伝いできればと思います。



写真は「いつかの風景」  
2018年制作です



美術科

い だ な つ み  
飯田 菜津美 先生



3名の先生が赴任しました

welcome / 大分県立芸術文化短期大学

# 新任の先生を紹介します

## PROFILE

### Q. 経歴・専門分野・担当科目を教えてください

私は韓国の釜山外国語大学で博士課程を修了しました。その後、韓国の高神大学校と釜山外大で講師を務める一方で、韓国政府機関である「世宗語学堂」で研究員としても働きました。専門分野は韓国語教育で、中でも韓国語学習者の「自己効力感」や「動機づけ」、そして「グリット (GRIT)」などの情緒的要因について研究を行って来ました。芸文短大では、韓国語ⅠA および韓国語Ⅱと検定韓国語演習、そしてアジアの文化と社会を担当しています。

### Q. 芸文短大に着任される前はどこで何をされていたか?

芸文短大に着任する前まで、私は約11年間、韓国の大学で20カ国以上の大学生に韓国語と韓国文化を教えてきました。特に芸文短大の姉妹校である釜山外大で2年半の間、韓国語、韓国文化、韓国社会、韓国歴史など、多様な科目を教えました。私が特に興味を持っていたのは韓国語と韓国の歴史でした。また、研究活動にも興味を持っており、韓国の学会で研究を発表したり、韓国語教育をテーマにしたさまざまな論文を書いたりしました。

### Q. 新天地で挑戦してみたいことは?

学生に韓国語だけでなく、韓国の様々な文化も紹介したいと思います。これを通じて、学生が日韓両国の特徴を理解し、将来的により明るい日韓関係を築く一助になりたいです。例えば、学生たちと一緒に韓国の映画やドラマを鑑賞し、そこに潜む韓国の文化を分析し、その結果をまとめて本として出版したいと考えています。また、機会があれば、学生たちと一緒に韓国を訪れながら、その多様な文化や歴史を学び、日本の文化と比較する活動を通じて、自国を愛し、隣国を理解する人材を育てることに貢献したいと思います。

### Q. 学生にメッセージをお願いします!

韓国は日本にとって一番近い国です。そのため、似ている部分も多いですが、一方ではとても異なる点もあり、より興味深い国だと思います。皆さん、このような韓国について学びたくないですか? 私は皆さんと一緒に楽しく韓国語と韓国文化を勉強したいと思います。韓国に関する質問があれば、何でも答える準備ができていますので、気軽に質問してください。どうぞよろしくお願いいたします! 감사합니다! (ありがとうございます!)



写真は韓国語教師研修会にてベトナムの先生たちと一緒に

国際総合学科

い ひょ じ え  
李 偲再 先生



## PROFILE

### Q. 経歴・専門分野・担当科目を教えてください

大分市出身です。長崎大学水産学部を卒業後、九州大学大学院比較社会文化学府を修了しました。嘉麻市役所入庁の後、福岡県庁出向等を経て現職に就任しました。

専門は観光学ですが、新たな観光資源の創造を目的に、150年前に途絶えた弥栄神社の「祇園祭」の研究を行っています。担当科目は「文化と観光」「エコツーリズム論」「比較文化論」「日本の文化と社会」「観光プランニング実習」「英語ⅠA・ⅠB」「基礎ゼミナール」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」です。

### Q. 芸文短大に着任される前はどこで何をされていたか?

大学時代は魚類の研究を、大学院時代は歴史や民俗学の研究を、その後、11年に及ぶ公務員生活を経験してきました。周囲を見渡しても、こんなに長く回り道してきた人間はいないかもしれませんが、その間には多くの人々との素晴らしい出会いがあり、様々な経験をさせていただいたと自負しています。有意義であったこれらの経験を講義やゼミを通して、皆さんに伝えることができたと思っています。

### Q. 新天地で挑戦してみたいことは?

芸短近くの弥栄神社では、かつて九州でも類を見ない程の大規模な祇園祭が行われていました。しかし、近代初期に行事は途絶え、現在はその歴史事実すら知られていない状況です。

そこで、これらの埋もれた歴史史実を発掘し、本学、全学科を挙げた横断的なプロジェクトとして、祇園祭の再興と行事を活用した新たな観光モデルの創造に取り組みたいと思っています。プロジェクトが実現すれば、将来的に大分市を代表する観光資源と地域振興の要になると確信しています。

### Q. 学生にメッセージをお願いします!

人はなぜ学ぶのか?と問われれば、その答えは「楽しいから」だと思います。皆さんも生涯をかけて夢になれる「楽しい事」を芸短で見つけてみて下さい。そのためには何事にも全力でチャレンジし、自身を試してみることで、自分のかけがえない持ち味が徐々にわかってくるのだと思います。そして、自分の夢になれる分野が何であるのか分かったのなら、あとはその分野を卓越した状態にまで伸ばしていくだけです。きっと皆さんの生きがいのある人生に繋がっていくでしょう。その一助になれるよう全力でサポートしていきます。楽しみながら共に学びましょう。

写真は故郷、萩原地区の祭礼行事にて



国際総合学科

つ つ み り ょ う す け  
堤 亮介 先生





# GEITAN NEWS vol.75

Latest topics at Oita Prefectural College of Arts and Culture

## 第64回入学式・ 第46回専攻科入学式を 執り行いました



2024年度入学式を4月5日(金)に執り行いました。今年度は、全学科が体育館に集まったの開催となりました。

音楽科在校生によるファンファーレに始まり、大学賛歌が合唱されました。今年度の新入学生は、短大342名並びに専攻科52名の計394名です。

小手川大助学長が式辞で「失敗を恐れずに地域社会に出て行って挑戦を繰り返し、最高に自身の詰まった二年間としてください」と新入生を激励し、短大と専攻科それぞれの入学学生代表が「学則を堅く守り、学生としての本分をつくす」ことを宣誓しました。

## 警視庁主催コンテストで 学生作品が局長賞(最優秀作品) に選ばれました



情報コミュニケーション学科野田研究室の7名で制作した啓発動画(アニメ)が、警察庁「令和5年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテスト」でサイバー警察局長賞(最優秀作品)に選ばれ、3月18日(月)に警察庁で表彰式が行われました。昨年度に引き続き2年連続の受賞となります。

3月26日(火)には大分県警察本部で受賞報告会が行われ、教員と学生が受賞の報告を行いました。入選した動画は既に警察庁のYouTubeで公開されているほか、今後は全国の運転免許センターなどの施設でも上映される予定です。

【学生グループが制作した動画】  
(警察庁 YouTube)

YouTube  
動画公開中!  
こちらから  
視聴できます



## 本学がテレビ番組の取材を受けました

4月9日(火)、番組収録のために華道家の假屋崎省吾さんが来校され、音楽科と美術科を訪れました。

音楽棟では、学生のピアノ演奏に聴き入り、假屋崎さんがモーツァルトのピアノソナタ第15番を演奏する場面もありました。芸術デザイン棟では、グラフィックアートコースの学生の作品を一つ一つ鑑賞し、シルクスクリンとエッチングを体験していただきました。学食では、学生とおしゃべり



盛り上がりながらのランチタイムとなりました。

また、図書館内で生け花の実演が行われ、ドウダンツツジ、デルフィニウム、ダリア、トルコキキョウを使って、本学をイメージした彩り豊かな作品を制作していただきました。

この模様は、OAB大分朝日放送「れじゃぐる」にて4月20日(土)に放送されました。



## 竹田キャンパス

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です。

ここ竹田キャンパスには卒業生達が子どもを連れて遊びに来ることも度々あります。そんな時、子ども達が遊べるように工作の材料も用意しています。材料を渡すだけで子ども達はとても豊かな発想で工作を楽しんでくれます。その時大事なのは大人が手を加えないことです。子どもの“作りたいもの”と、大人の“作ってほしいもの”は違います。大人のすることはサポートだけで十分です。子どもの無限の発想力に大人が蓋をしてはいけません。子どもの美術教育においてとても大切な事だと考えております。まあ私は一緒に遊びたいだけです(笑)

非常勤講師 大学OB 前田亮二







「学んだことを地域で活かす、地域で活動することで学びの意味を考える」

大分川清掃および大友宗麟の歴史探索を行いました

4月20日(土)に、今年度最初のサービスマーケティングの活動として、大学の近くを流れる大分川の清掃および大友宗麟の歴史を知るための活動を行い、新入生を中心とした19名の学生が参加しました。

活動では最初に、宗麟大橋から河口方面に向けてごみを拾いながら美化活動に取り組みました。所々で担当教員から、大分川の河川敷の開発予定、戦国時代の海外貿易の歴史、国際都市として成長した豊後(府内)の特徴、大分から全国に影響を及ぼすことになった西洋医学・社会福祉・宗教・西洋音楽、当時の先端技術などについて説明が行われました。

続いて南蛮BVNGO交流館では、大友宗麟の功績や歴史についてビデオを見ながら学習し、VRアプリを使って、当時の歴史や建造物について理解を深めました。

参加した学生からは「大分県出身なので大分の歴史を知ることができて良かった」、「大分が日本の中で最も最初に西洋医学や西洋音楽など普及したことを知れて勉強になった」、「南蛮BVNGO交流館の開発が進んだらまた訪問してみたい」などの感想が寄せられました。

一連の活動を通じて環境美化だけでなく、大学の位置する上野丘地域の悠久の歴史、観光資源について考える1日となりました。



学内ギャラリー 作品紹介 On-campus Gallery

4月10日(水)~4月17日(水)、プロダクトデザインコースの令和5年度授業課題作品、卒業・修了制作の優秀作品の展示を行いました。



**日々是精進**

音楽科

- 第62回北九州芸術祭クラシックコンクール 一般の部
  - 優秀賞 志賀 春美(2年 ピアノコース)
- 第62回北九州芸術祭クラシックコンクール 一般の部
  - 最優秀賞 古城 温香(2年 管弦打コース)
  - 第2位 西岡 あゆな(2年 管弦打コース)
  - 奨励賞 西田 花乃(1年 管弦打コース)
- 警察庁 令和5年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテスト
  - 「サイバー警察局長賞(最優秀作品)」受賞

情報コミュニケーション学科 野田研究室  
大分県警察本部長から感謝状  
情報コミュニケーション学科 「めじろんおおいた見守り隊」(野田研究室)

**学友会**

こんにちは!学友会です!先日、開催した新入生歓迎会では、たくさんのお新入生とお会いすることができました。例年を超える人数での参加となり、学友会としてとても嬉しいイベントとなりました。これからもヤロコンや芸短祭と盛り上げていきますので是非ご参加ください!!また今までのSNSに加えTikTokも開設しましたのでもしよければご覧ください!!

Instagram @geitandayooo  
X(旧 Twitter) @GakuyuGetan  
TikTok @oita.gt.gk

**学長コラム** 「生きる喜び」

**音楽家の運動神経**

ロシアの指揮者のゲルギエフは少年時代、優秀なサッカー選手でオリンピック候補への道も志したが結局音楽への道を選んだ。彼のほかにも出会った音楽家にスポーツ経験のある人が多かった。そこで著名なバイオリニストの諏訪内晶子さんに話すと、彼女は即座に「著名な音楽家は皆運動神経が発達していますよ」と言った。「生まれてこの方、音楽と体育というのは対極の感じがしますが」と言うと諏訪内さんは、「特にソリストは皆運動神経が発達しています。演奏に瞬発力が必要だからです」と説明してくれた。例えば、著名なバイオリニストで昨年本学に来てくれた三浦文彰君を始め、音楽家には楽器を持っていないとスポーツ選手と思わせる人が多い。極めつけは著名なソプラノのネットレポコの相手役を務めるテノールのセルゲイ・スコロホドフで、彼の父親はソ連時代10年間ボクシングのチャンピオンの地位を守った人であり、セルゲイの兄も弟もプロボクサーである。来日した際に、後楽園ジムで毎日お湯に浸かりその後はジムで体づくりのトレーニングに励んで発声練習もせず、「音楽家の頂点は40代なのでそれまでは体作り」と言っていた彼のことか思い起こされた。

似顔絵：学長秘書高野桐子